

2022年10月5日

報道関係者各位

一般社団法人ロボットフレンドリー施設推進機構

一般社団法人ロボットフレンドリー施設推進機構設立のお知らせ

一般社団法人ロボットフレンドリー施設推進機構(以下「本機構」)は、あらゆるタイプの施設において、「ロボットの導入」と「ロボットフレンドリーな環境(以下「ロボフレ環境」)の構築」を支援するため設立されました。

※本機構 URL : <https://robot-friendly.org>

本機構は、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が2019年11月に立ち上げた「ロボット実装モデル構築推進タスクフォース(TF)」内の「施設管理テクニカルコミッティ(TC)」に由来しています。業界横断的な企業があらゆる施設においてロボット導入を実現するための手法を検討し、2021年6月には「ロボット・エレベーター連携インタフェイス定義」の暫定版を公開することができました。本機構は、産業界がスピード感を持って自発的にロボットの活用について検討を行うため、TFから発展的に独立する形で設立されました。

※経済産業省プレスリリース

ロボットフレンドリーな環境の実現に向けた取組が加速しています

～各プロジェクトの推進体制の決定、ロボフレ推進法人の新設などの取組～

URL : <https://www.meti.go.jp/press/2022/10/20221005001/20221005001.html>

本機構は、今後以下取り進めを行います。

施策	2022年	2023年	2024年
ロボット・エレベーター連携	<ul style="list-style-type: none"> 「ロボット・エレベーター連携インタフェイス定義」正式発行 本領域におけるガイドラインの企画/構想 	<ul style="list-style-type: none"> 「ロボット・エレベーター連携インタフェイス定義」の改定 本領域におけるガイドラインの発行 	
ロボット・セキュリティ連携	<ul style="list-style-type: none"> 「ロボット・セキュリティ連携」に関して、規格/ガイドラインのドラフト版策定 	<ul style="list-style-type: none"> 「ロボット・セキュリティ連携」に関して、規格/ガイドラインの正式発行/改定 	
ロボットフレンドリーの定量化		<ul style="list-style-type: none"> ロボットフレンドリーな環境を定量的に定義するためのTCを立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 「ロボットフレンドリーな環境」に関して、定量的な定義を取り纏め/発行
ロボットの群管理の実現		<ul style="list-style-type: none"> ロボットのすれ違いを実現するためのTCを立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 異なるロボット同士がすれ違いを実現するための規格を発行

■本機構の目指す姿に関して

①施設とロボットの連携において協調領域を整理すること

ロボットは、エレベーターやセキュリティ(入退管理システム)等と連携することによって、その可動域を大幅に拡大させることが可能です。しかしながらこれまでのロボットの連携事例においては、各社各様に連携方式を開発していたため、実現される効果がほぼ同じであるにも関わらず、過大な導入時間を要しコストアップに繋がっておりました。本機構は施設とロボットが連携する上での協調領域を整理し、各社が競争領域に注力できる環境の整備に努めます。具体的には、ガイドラインや各種規格を発行し、ロボットの普及を支援することに努めます。

②「ロボフレ環境」を定義し、ロボットを導入しやすい環境を具体化すること

現状「ロボフレ環境」という定義は存在せず、ロボットによって「どんな施設であれば即座に導入可能なのか」状況は区々になります。例えば、あるロボットは少しの段差であれば超えられるが、別のロボットは超えられない等です。本機構では「ロボフレ環境」を定量的に定義し、ロボットの導入をし易い環境の具体化を目指します。

③ロボットの群管理の実現を支援すること

ロボット同士を束ねるシステムが無い限り、ロボット同士がすれ違うことは現在の技術において困難です。例えば狭い通路で複数種類のロボットが対面してしまった場合、すれ違うことができず止まってしまうことが予想されます。複数種類のロボットが同一環境にて自律的にサービスを行う状況を見据え、本機構ではメーカー横断的なロボットの群管理を実現することを目指し、複数種類のロボットが同時にサービスを提供できる環境づくりを支援します。

以上

■一般社団法人ロボットフレンドリー施設推進機構の概要

名称 : 一般社団法人ロボットフレンドリー施設推進機構
(Robot Friendly Asset Promotion Association: RFA)

HP : <https://robot-friendly.org>

E-mail : rfa@supportoffice.jp

設立 : 2022年8月10日

発足 : 2022年9月2日

事務所 : 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 507号

代表理事: 脇谷 勉

(株式会社本田技術研究所 アメリカンホンダモーター ソリューションシステム担当副社長)

会員数 : 正会員 24

賛助会員 1

※2022年9月22日時点

目的 : あらゆるタイプの施設においてロボットの導入を実現するため、
ロボットフレンドリーな環境の構築を支援すること。

■参画企業(2022年9月22日時点)

正会員企業

・各企業会社名(50音順)

NEC ネットエスアイ株式会社

株式会社 Octa Robotics

株式会社クマヒラ

株式会社ジェイアール東日本企画

杉田エース株式会社

セコム株式会社

総合警備保障株式会社

大成建設株式会社

株式会社東急コミュニティー

東急不動産株式会社

東芝エレベーター株式会社

戸田建設株式会社

トヨタ自動車株式会社

ナブテスコ株式会社

日本信号株式会社

日本電気株式会社

一般財団法人日本品質保証機構

パナソニックホールディングス株式会社

フジテック株式会社

株式会社本田技術研究所
三菱地所株式会社
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
美和ロック株式会社
森トラスト株式会社

賛助会員企業

・各企業会社名(50音順)
NECプラットフォームズ株式会社

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人ロボットフレンドリー施設推進機構 代表窓口

E-mail: rfa@supportoffice.jp